

イエスは主なり



日本クリスチャン・アシュラム連盟

日本アシュラム

アシュラムとはスタンレー・ジョーンズ師がインドの退修方式を取り入れて創設されたキリスト教の新しい祈禱運動である。

開心・静聴・充滿・献身・奉仕 167号

喜びと命を与えられて

ヨハネ 1章 40～42節

唐渡 弘



私は現在、四国・香川県高松市で障害者の教会で奉仕しております。四国のアシュラムの集いは、愛媛県と高知県で、榎本先生の流れのアシュラムが毎年行われておりますが、アシュラム連盟の流れのアシュラムは、十年ほど教会共同のアシュラムとしては行われておりません。しかし、個人として、また個教会で、アシュラムの恵みをしたい、またその恵みに生きている方々がおられます。私もその一人であります。私をアシュラムの恵みに導いてくださったアンデレのような人々のことを、書かせていただきます。

私にキリスト信仰を伝えてくださったのは、日本基督教団玉野教会（ホーリネス系の教会）の信徒伝道者の方々の路傍伝道でした。恵みにより、関西聖書神学校で学び、日本イエス・キリスト教団の教職として今日に至りました。神学校の先輩のY牧師の勧めで四国の地での「こころの友伝道」に導かれました。また、1970年に行われた四国総動員伝道を通して、愛媛県のU牧師、K牧師と出会い、その先生方から四国のアシュラムにお誘いをいただき導かれました。

毎年行われる「こころの友伝道」全国大会で、先に召されたS牧師とY牧師と出会い、その先生方の証し、著書を通して、先生方の伝道と教会奉仕がアシュラムで整えられていることを知りました。先生方はアシュラムで、まことに「イエスは主なり」の事実を経験され、喜びにあふれてキリスト信仰と教会奉仕に尽くされました。先生方は、大きな喜びと確信をもって、私にアシュラムの主イエスを伝えて下さいました。アンデレに導かれてイエスさまに出会ったシモンのように、私はこれらの先生方の証しに導かれて、アシュラムの主イエスに出会いました。生涯忘れられない出会いでした。

私はアシュラムにより、キリスト信仰に喜びと命を与えられて、教会に仕える恵みに与りました。これがアシュラムの恵みでした。

改めて毎週の教会の礼拝が、アシュラムの開心・静聴・充滿・献身・奉仕の恵みの時でありますようにと祈るものであります。アシュラムの皆様の祈りと交わりの中で、「イエスは主なり」との恵みを喜んで、教会の兄弟姉妹に伝えたいと祈ります。

(日本イエス・キリスト教団 高松田村町教会牧師)

霊 想



「病と痛みを担い負われた

主イエス・キリスト」

イザヤ書五三章四節、五節他

早良キリスト教会

牧師・今村 幸文

二〇一一年は三・一一の東日本大震災、津波原発事故の起こった年として決して忘れ去ることはできません。私はその二ヶ月後、仙台、石巻、郡山を訪れる機会を与えられ、言葉を失うほどの惨状に目を奪われ、また目に見えない放射性物質に不安と恐れを痛感いたしました。

特に石巻市郊外のグラウンドの数百人に及ぶ方々の仮埋葬地に立った時のことです。その殆どの埋葬者の墓標には名前がなく数字のみでありました。

「わたしは世の終りまで、いつもあなたがたと共にいる」と言われる苦難と十字架と復活の主イエスが、埋葬されている一人一人と共にいてくださることを信じ、祈ることなし

にその場を離れることができませんでした。

人は天災、人災、病や事故、事件など絶望的ないろいろな出来事に遭遇した時、「どうしてこんな事が起こったのだろう」「なぜこんな病気になるのだらう」と問いかけます。

主イエスの弟子たちでさえ、生まれつき目の見えない人について「それは誰が罪を犯したからですか、本人ですか、それとも両親ですか」と尋ねています。またヨブ記でも、ヨブにふりかかった苦しみに対して友人たちは伝統的な苦難応報説で「神の前に悔い改めよ」と迫りました。いろいろな不幸な出来事は原因や理由がある場合もあるかもしれませんが。

しかしそれがわかったからといって現実の苦しみや悲しみが解決されるとは限りません。

前述の弟子たちの問いかけに對して主イエスは「本人が罪を犯したからでもなく両親が罪を犯したからでもない」と言い切っておられます。そればかりか「神の業がこの人に現れるためである」と言っておられます。

神の業とは、目の見えない人の目が癒されることだけでなく「神がお遣わしになった者を信じること」(ヨハネ六・二九)であると明言されています。ここには因果応報的、苦難応報的な考え方が否定されてい

るばかりか苦難の意味が新しくされています。

イザヤ書五三章四節前半に「彼が担ったのは私たちの病、彼が負ったのは私たちの痛みであった」という言葉があります。更に五節には「彼が刺し貫かれたのは、私たちの背きのためであり、私たちの咎のためであった。彼の受けた懲らしめによって私たちに平和が与えられ、彼が受けた傷によって私たちは癒された」とあります。ここには他者の痛み、苦しみと背きと咎を代わられた主の僕の苦難であったこと、そしてこの主の僕こそイエス・キリストであると証言されています(マタイ八・二四―一七)。

主イエスの十字架上の言葉の一つに「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか」(マルコ一五・三四)とあります。

私たちの人生において納得いかない出来事に直面し私たちは「なぜ」「どうして」と叫びます。そのような私たちの傍らで主はその「なぜ」と発しつつ私たちの「なぜ」をしつかりと受けとめてくださっているのです。

もちろん主の「なぜ」は私たち全人類の罪を己が罪として十字架で担っておられる叫びです。また私たちは人生の矛盾に出会って「神も仏もあるものか」と口走ります。し

かし主イエス・キリストは「わが神、わが神」と呼んで私たちを主なる神にしつかり結び合わせてくださっているのです。

私は現在病のために治療中です。病は肉体と心の病であることを覚えます。病を通して自分の心の深みで自分へのこだわりや家族や人々に対して自己中心で、主に委ね切っていない自分の罪を示されます。

イエス・キリストは苦難と十字架と復活の主であり、癒し主、慰め主、助け主、弁護者として共にいますことを讃美します。

御国を来らせ給え

D・Pタイタス(インド)

「No.154より続く」

神の国についての概観
三、神の国は絶対的であって相対的ではない

三位一体の神と、神の国を除いて他に絶対的なものは何もない。教会は絶対ではない。我々の教派も絶対ではない。その他伝道局も、教憲教規も組織も絶対ではない。総てものは神の国との関連において存在している。

神の国はわれわれの協力や支持を必要としない。神の国はカリマ(因果応報)やキスマット(運命)に左右されない。いかに屢々我々は神の国に関して饒舌を弄ぶことだろう!

我々は時に神の国の法則を破るようなことを語る。誰一人として永遠に続く御国の法則を破ることはできない。我々は御国の法則に反するときには唯我々自身を破壊するだけである。誰でも自分を塔の上から身投げする人が重力の法則を破るのではない。むしろ法則が彼を砕くのである。彼はただ重力の法則の真理を提示するだけである。

証 主のなせること

横濱岡村教会
藤山 クニエ

「我らの魂は主を待つ、主は我らの助け」

我らの盾、我らの心は喜び
聖なる御名により頼む」 詩編
33・20・21

敬愛する東京新生教会の大切なアシユラムに招かれました時、何故私が…二月十九日が近づくにつれ神さまにわからせていただいた事は、罪の中にもがき苦しんでいた者が、主イエスさまの愛にすべての罪、とが赦されて今日ある者だということとです。林の中を通過して来てね」と教えられながらウロウロまわり道をしたのは、信じきっていない自分、聖書を読んでもまったく信じきっていないことに気づかされ唖然とした。あの朝霜柱が立っついていて落ち葉

の上をサクサクと進んだ。そっちはなく右へと後ろから親切な人の声、木々の間をよく見ると教会が見えはつとす。教会の中はあたたかく母親とお子さん達が丸く輪になってみ言葉をお聴いていました。何という素敵な神の家族、聖なる御名により頼む。選ばれた人々、赤ちゃんから高齢なる人々のなごやかな輪の中に入れられた。詩編138の朗読が終わった時主人のことを語るべきだとの思いにされた。八年前の一月入院となった時、この詩編7-8節、どこに行けばあなたの霊から離れることができよう。どこに逃れば御顔を避けることができよう。天に昇ろうとも、あなたはそこにいます。陰府に身を横たえようとも、見よ、あなたはそこにいます。主人の心の中はこうに違いないと思えました。たまたごでない体のおとろえ…祈り祈り聖書を読み24節どうかわたし(主人)をとこしえの道に導いて下さい。このことを切に祈った。死の四日前に主を受け入れ四時間前に病床洗礼を授けていただいた。すべて苦勞はむくわれ平安だけが残りました。

第一回横濱岡村教会アシユラムが開かれた時、助言者として横山先生がおいで下さった。開心が一番大切であること、心の一番深いところに目をうつし、私はどこから救われたのだろうか、鮮明に覚えているの

は、高い梁に一本のロープをかけようとして何度もくりかえす祖父、薄い布がユラユラゆれて恐れおののきながら見ている私。母は畑から暗くならなければ帰ってこない。兄姉たちは学校の帰りもおそくない(今思えば貧しい我が家は新聞配達や子守に依っていた)。この時の恐れがアシユラムの開心の時、幻のように思い出された。死の恐れから開放されたのが切なる願いでした。アシユラムは自分の原点へとつれていく。恐れから開放されるだけでなく、「あなたがたもかつては神をはなれ心において敵となつて悪い行いの中にあつたのですが、今は神は御子の体において、しかもその死によってあなたがたを自分と和解させて下さいました。それはあなたがたを聖く、傷なく、非難されるところのないものとして、み前に立たせて下さるためでした」コロサイ11:21-22

昨年第三十回の記念すべきアシユラムも横山先生においでいただき「栄光の希望内住のキリスト」主にあるメッセージは本当に喜びでした。

横山基生先生のメッセージは、神の深い愛を解きあかし、わたしたちのすべて知りつくしておられる神さま、私たちには迷いの道、悲しみの道、傷のついた道、悪しき道があるが主がすべて、一人一人に備えた

道を下さると。横山先生の奥様が小声でいわれた。毎日の早天の祈りに来る事が私の足を支えているのです。そして教会員全員が家族親族一同の名をあげて祈っている。主をよるこぶことはあなたがたの力です。イエスが主であることが健康のもと、イエスさまはスパードクターと語られた。感謝アーメンありがとうございます。

第46回九州アシユラム報告

鮫島 則雄



第46回九州アシユラム 助言者：今村奉文師 於：福岡『黙想の家』

二〇一一年九月一八日〜一九日の両日、福岡『黙想の家』(宗像市)を会場にして開催しました。今年も

様々な教会行事と重なり、参加者の出席が危ぶまれたのですが、主の不思議な取り扱いの中で地境を広げていただきました。九州地区委員長の鍋倉先生が先年より佐世保市の幼稚園園長としての働きが始まっていました。その関係で出張の際、無牧の教会・伝道所での説教奉仕を続けておられたのです。その中で九州アシラムへの参加アピールをされた結果、今回佐世保地区からも数名の参加者が与えられて会場の定員近い二七名で、大変祝された二日間となりました。

助言者は前回に引き続き、今村幸文師にお願いしました。この事も主の粋なお計らいの中で実現した次第です。今村師は定年で一旦牧会を離れ、ご令嬢が牧師夫人をされている名古屋の教会で協力牧師として奉仕されていたのですが、福岡市内の教会から牧師としてもう一度指導して欲しいとの要請に応じられ、昨年の九州アシラム実施日間の九月一日付けて早良キリスト教会に着任されたのです。引越しの荷物も解く間もなく、ご夫妻で会場においていただき、二日間しっかりと「聖霊に満たされて」と題して、初期の弟子たちを大きく用いられた聖霊なる神の宮となることの大切さを助言していただきました。

二日間の静聴の時、福音の時を

通し、参加者一人ひとりが御霊に導かれ、今一度信仰の原点に立ち帰ることの大切さを再確認しました。今回も昨年に続き、一人の献身決心者が立ち上がったことが大きな喜びとなりました。

私たちは信仰の恵みに与かっても未だ不完全な存在です。その私たちが自分を見るのではなく『わたしはある』という方を信じ、万事を益とし給う力を信じて立ち上がることの大切さを分かち合いました。

第四七回のアシラムは、九月一六～一七日の両日開催することが決定しています。ただ助言者については、鍋倉委員長と全国理事の岡山師が、岡山師著作の出版本記念ツアーで現在欧州旅行中ですので帰国され次第会議を開き、決定することになっていきます。

第45回関西アシラム報告

脇田 眞一

二〇一一年一〇月九日(日)午後三時～一〇日(月)午後二時まで、神戸市東灘区御影町の「母の家ベテル」で、第四五回関西アシラムが開催された。定刻までにほぼ全員が揃って、開会の祈りの時を迎えた。参加は十五教会、二十九名(信徒十八名、教職十一名)であつ



た。主題は「御言への静聴と立証」、主題聖句は「静まって、わたしはもろ神であることを知れ。わたしはもろもろの国民のうちにあがめられ、全地にあがめられる」(口語訳・詩編四六篇一〇節)である。九日(日)の「開会の祈り」は小島十二師が担当し、「開心の時」は平方美代子師が担当した。今回は特別に助言者として村瀬俊夫師(日本長老教会牧師)を招き、同師が「福音の時」「朝の祈り」「充滿の時」をすべて担当してくださった。なお、一〇日(月)「静聴・分かち合い」は清水潔師が担当した。

今回の助言者はアシラム集會や牧会での数々の体験を基に、深い信仰の洞察に基づき、話されたので、分かりやすく、しかも信仰生活の向上に非常に役立つものであった。新来会者からも非常に良い集會に参加でき、良かったとの感謝の言葉を多数戴いた。来年も是非出席したいとの声もあり、神に栄光を帰して集會を閉じることができ、深く感謝している。

全国の主にある兄弟姉妹のお祈りを感じます。

各地区アシラム等予告

●第50回関東アシラム

とき 12年9月17日(月)～19日(水)

ところ 山崎製パン箱根山荘

助言者 横山義孝

●第3回仙台アシラム

とき 12年9月29日(土)～30日(日)

ところ 日本キリスト教団仙台青葉荘教会

助言者 日本長老教会牧師 村瀬俊夫師

池の上キリスト教会内

日本クリスチャン・アシラム連盟

振替口座 東京〇一〇〇一四五五八

千一八一〇〇二 三鷹市井口3-15-6

池の上キリスト教会内

日本クリスチャン・アシラム連盟

振替口座 東京〇一〇〇一四五五八